

令和3年度取組状況

ものづくり工学科 一般科目(体育) 助教 坂本宗司

取組状況	
教育	<p>①長距離走において毎週の記録をデータ化しフィードバックを行った。結果を可視化しフィードバックを行うことにより、学生の目的の明確化や意欲の向上を図り、多くの学生においてタイム向上の成果がみられた。</p> <p>②各回グループワークとディスカッションを実践し、学生同士がコミュニケーションを取る機会を増やし、コロナ禍における中でのコミュニケーションの方策を模索し学生が主体性を持って授業に取り組む環境の構築を図った。</p> <p>③コロナ禍での対面実技授業という難しい状況の中、授業内での感染者を出すことなく、安全面に配慮し授業運営を行った。</p> <p>④classroomを活用し、パワーポイントでサッカーの競技規則等について資料を作成し、知識向上を図り実技に活かせるようにした。</p>
研究	<p>①前額軸及び矢状軸の3次元に振動する全身振動刺激トレーニング機器を用いたトレーニングデータを元に、ブラインドサッカー選手のトレーニング方法およびステップ運動に及ぼす影響について検討を行った。</p> <p>②体カテストを実施し、低学年(1-3年生)におけるデータ抽出を行なった。収集したデータを元に本校学生の体力について縦断的な検討を行い、学生の健康について継続的に検証中。</p>
社会貢献	<p>①発達に凹凸があるこども達への運動学習支援活動「footism」において講師を務め、運動を通じた発育発達の教育的活動を行った。</p> <p>②NPO法人のスポーツ指導員として、コロナ禍に配慮しながら、小中高生を対象としてスポーツ教室においてサッカーの指導を行った。</p> <p>③NPO法人のスポーツ指導員として、中学生を対象としオンラインによるサッカー指導教室を開催した。</p> <p>④コロナ禍にあり本校体育施設開放を広く行うことはできなかったが、日々施設の点検に努め、安全性を担保する活動を行なった。</p>